マー坊の大陸宣撫隊　後篇　匪賊退治の巻（1942）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　B&W
時間　10分
初公開日 1942/03/26

【解説】
太平洋戦争中に作られた国策アニメの一本で、少年マー坊を主人公とするシリーズの一本。
少年マー坊は、動物サーカス団の隊長。匪賊（殺人・強盗を行なう盗賊の集団）に誘拐された土豪の令嬢を救うため、マー坊と動物たちは敵が待つ山中の要塞に乗り込む。マー坊は、令嬢の身代金・一万元を渡すふりをして袋の中からヘビを飛び出させ、賊の首領を奇襲した。だが首領は激怒し、マー坊を落とし穴に突き落としてしまう。マー坊と動物たちの反撃は叶うか？
本邦アニメ創始者の一人・北山清太郎の門下だった金井喜一郎、その実弟である佐藤吟二郎（今二郎）が製作した作品。公開は1942年だが、実質的な製作は1930年代末の日中戦争さなかで、中国を舞台にした物語の内容にその時代色が表れているといわれる。

【クレジット】
演出　千葉洋路
製作　佐藤今二良
解説　牧野周一

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.